

学びあい、語り合おう！



今、教育に求められるもの

～主権者として育ち合う学校と地域～

子どもたちは地域の宝、社会の希望です。ところが子育てや教育の現場では、さまざまな悩みや問題が山積み。子どもたちの育ちはどうあるべきか、学校とは何か、真の学びとはなにか、地域や社会がどう支えるべきかがあらためて問われています。

学校の主人公である子ども・青年を中心にすえ、保護者・市民・教師、そして子育てと教育にかかわる行政と諸団体のみなさんで、つどい、語り合い、共に考え合ひましょう。

日時 2017年11月25(土), 26日(日)

場所 静岡県立駿河総合高等学校

(〒422-8032 静岡市駿河区有東三丁目4番17号)

参加費 無料 (26日は昼休みにもちつきをします。材料代500円。)

日程

11月25日(土) 12:00～受付

12:30～13:00 開会全体会

13:00～16:00「教育実践分科会」

1 主権者を育てる授業・道徳 集団づくり

2 特別支援教育の実践報告

11月26日(日) 9:30～受付

10:00～全体会

講演会 河野哲也さん「思考力と判断力を育てる道徳教育」、

13:00～市民と共に考える「共育」分科会(問題別・課題別分科会)

15:30～16:00 まとめの会



《静岡県教職員互助組合補助事業》

主催 静岡県教職員互助組合高校支部 静岡県教育のつどい実行委員会

後援 静岡市、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会 (申請中)

問い合わせ 静岡県教育のつどい実行委員会事務局 054-253-3331 静岡市教組

054-254-6900 静岡高教組

◆教育実践分科会

11月25日(土) 13:00~16:00

	分科会名	語り合いたい内容
1	小・中・高を見通した 主権者を育てる 授業・学級づくり	小・中・高の若手教員3人の先生が、授業づくり、学級づくりの実践紹介をします。子どもたちが興味を持って取り組む国語や理科の授業、子どもたちに自己肯定感を持たせながら取り組んだ社会科の授業などが報告されます。実践の中にある宝物をアドバイザーの加藤好一先生と一緒に見つけましょう。
2	特別な支援を必要とする人たちの「学び」を どう保障するか	特別支援学級、特別支援学校小学部・中等部・高等部での授業実践の交流をします。困っている子どもたちを支援するには、どのような手立てや工夫が必要なのでしょうか？実践や悩みを交流しましょう。

◆記念講演

11月26日(日) 受付9:30



「思考力と判断力を育てる道徳教育」

コーノくんこと **河野哲也さん** (立教大学教授、哲学・倫理学)

道徳教育は「あらゆる場所で行われるべき生涯教育」(河野哲也)です。したがって、その教育の舞台は家庭、地域、学校、その他のあらゆる場所です。学校での道徳教育は計画的に行いますが、それ以外は意識的、あるいは無意識のうちに教育を行うことになります。河野先生は道徳教育は時代によってめざすものが変化すると言います。社会が何をめざすのかによって変わるのです。現代日本社会がめざす道徳教育とはどんなものでしょう。河野先生は次のように言います。「リベラルな民主主義社会を維持し、発展させる働きを担う主権者を育成することに他ならない。すなわち道徳教育とは民主主義教育と同じものなのである。」

民主主義とは多数決ではありません。いわゆる少数派(マイノリティ)と言われる人たちの幸福と、多数(マジョリティ)の幸福を同時に追求できる、誰にとっても優しい社会のあり方です。私たちは子どもたちをこのような社会の作り手に育てていかなければなりません。学校で、地域で、家庭で、どんな道徳教育を行えばよいのか。どんな構えで子どもたちに接していけばよいのか。

これまでの大人の構えが大きく変わるかも知れないわくわくするようなお話です。

河野哲也(こうのてつや)先生の紹介

立教大学文学部・教授慶応義塾大学文学研究科後期博士課程終了、博士(哲学) 日本哲学会、日本現象学会、日本科学哲学会など多くの学会の理事や委員を務める。

専門は、現代哲学と倫理学、近年は環境の問題を扱った哲学を展開している。また、教育の問題にも関心を持っており、対話によって思考とコミュニケーション力を養う教育を、幼稚園・保育園児から高校生を対象として、多くの学校や図書館などで実践している。鎌倉などで大人向けの哲学対話、哲学カフェを実施している。

主要著作

『いつかはみんな野生にもどる』(水声社、2016)

『現象学的身体論と特別支援教育』(北大路書房、2015)

『境界の現象学：始原の海から流体の存在論へ』(筑摩選書、2014)

『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』(河出書房新社、2014)

『意識は実在しない：心・知覚・自由』(講談社メチエ、2011) ほか



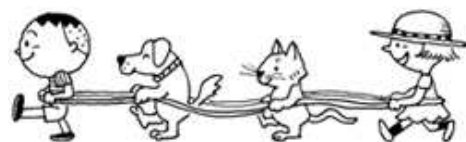
◆市民と共に考える「共育」分科会

11月26日(日) 13:00~15:30

	テーマ	語り合いたい内容
A	子ども哲学ワークショップ ～主権者を育てる道徳教育～	10～20才の子ども・青年10人ほどの異年齢集団で円くなって哲学対話をします。ファシリテーターはコーノくんこと河野哲也先生。大人は参観と対話形式の交流をします。主権者を育てるために大人はどう子どもと関わればいいのか、話し合しましょう。
B	子どもの貧困 ～食・生活・学習～	富士市学校給食の会、県立大学の学習支援サークルSSS、中高生の活動を支援するYEC、スクールソーシャルワーカーの報告を聞いて、子どもの貧困と地域のとりくみについて、食、生活、学習の面から考え合しましょう。
C	特別な支援が必要な人たちと共に ～発達障害とどう向き合うか～	「できない」「わからない」をのりこえて、「障害」を持った人たちの「育ち」と「学び」と「共生」のあり方を考えましょう。
D	地域と共につくる学校	静岡市、浜松市など県下で進められている「小中一貫教育」とは、どういうものでしょうか？ また、吉田町の「夏休み短縮方針」トリビンスプランは、本当に子どもや親や教師のためになるのでしょうか？みんなで学習し、考えましょう。
E	今こそ「部活」を考えよう ～「部活動アンケート2017」 中間報告～	「ブラック」とも呼ばれる部活の現状と望ましいあり方とは？静岡高教組が昨年について実施したアンケートの中間報告の他、中学教員・生徒・保護者など様々な立場から共に考えましょう。

◆ まとめの会

15:30~16:00



YEC (若者エンパワメント委員会) は、静岡県立大学を中心に、静岡大学、常葉大学などの大学生メンバーで構成される、若者の社会参画を活性化し、若者が社会の力となっている状態を目指す静岡の学生団体です。

YECは、若者が社会のメンバーとして

「この社会をより良くしていけるんだ」という自信を持っている状態、社会の中で「こうありたい」という自分を実現させている状態、そしてそれを通じて、若者が社会のチカラになっている状態を実現することを目指して、静岡県立大学の学生と教員を中心に2009年に発足した学生団体です。

SSS (静岡学習支援ネットワーク) は「勉強をしたくても、できない子どもたち」の力になりたいとの思いをもった大学生が集まり、2012年2月に誕生した団体です。

「勉強すること、学ぶことは楽しい！」そう感じてもらえるような場所を作るために、しっかりと勉強に集中する時間の中に、時々レクリエーションも加えつつ教室を運営しています。

なお、当団体は2015年3月10日に法人格を取得し、「一般社団法人静岡学習支援ネットワーク」となりました。



□会場 駿河総合高等学校へのアクセス

〒422-8032

静岡市駿河区有東三丁目4番17号

(バスで)

○静岡駅11番乗り場

県立病院高松線「登呂コープタウン」行き

「富士見台駿河総合高校入口」下車

○静岡駅南口21番乗り場

「中田→ツインメッセ」行き

駿河総合高校前」下車

(自家用車で)

校内に駐車場があります。



駿河総合高校

【申し込み・問い合わせ先】

■ 第10回静岡県教育のつどい実行委員会事務局

須部友康 Tel&Fax 053-433-9851 MLD33569@nifty.com

橋本 純 Tel 054-254-6900 Fax 054-254-0814 info@s-koukyouso.jp

2017年第10回静岡県教育のつどい参加申込書

所属	ご氏名	連絡方法 Tel・Fax・メールアドレス

参加希望に○を記入してください。希望する分科会名もお願いします。

	参加希望	参加希望分科会
11月25日(土) 12:00~受付		
12:30~開会全体集会		
13:00~教育実践分科会		1・2
11月26日(日) 9:30~受付		
10:00~記念講演		
12:00~13:00「もちつき」して昼食(500円)		
13:00~「共育」分科会 ~16:00		(A B C D E)